

令和5年度九州大学大学院法学府  
修士課程入学試験問題（春季）

刑法

以下の設問に全て解答せよ。

I 次の用語を説明せよ。

- (a) （横領罪の本質に関する）領得行為説
- (b) 構成要件的過失
- (c) 再間接教唆
- (d) 抽象的事実の錯誤

II 次の事例において、Xの罪責はどのようになるか。ありうる構成を全て挙げて検討した上で、私見を展開せよ。

Xは、市議会議員選挙に立候補したAについて、自ら詳細に調査した結果、Aが地元の大手企業Bに選挙協力を求めて、多額の金銭を交付している事実を掴んだ。Xは、この事実を明るみにすべく、Aの選挙違反事実を詳細に記述したビラを作成し、街頭で不特定多数人に配布した。

Aの告訴を受けて、Xは名誉毀損罪で起訴された。名誉毀損をめぐる裁判で、Xは、真実性の証明に失敗した。